

東京アカデミーの7つの約束

基本的なマナー要素の強いことですが、これも公務員試験突破・合格を目指すには社会人として必要なことと考え、受講生・スタッフ一丸となり実行していきます。

公務員という職業は全体の奉仕者であり、社会全体をより豊かにすべく、多様なニーズに応えるための専門知識が必要とされます。また、仕事を通してあらゆる世代の人と接し、対話する人間性が求められます。人間性の中には、コミュニケーション能力や規範意識、社会的な常識や学びに向かう姿勢等が含まれます。その為に公務員試験では、学力と人柄の両方を重視し、面接試験や作文試験を実施します。しかし、面接試験で求められる人間性は、本試験直前に身に付くものではなく、平日頃の心がけが大切になります。東京アカデミーでは、公務員を目指す皆さんが面接試験を突破する為だけの、いわゆる表面的な知識を学ぶだけでなく、社会人として必要になるマナーや常識を身に付け、公務員としての資質を高めることのできる予備校として、以下7つの約束を実行します。

1 講義には遅刻しない!を心がける

学校の授業に限らず、社会人としても始業時間に遅刻は厳禁です。諸事情により講義時間に間に合わない場合(学校行事や公共交通機関の遅延等)は、講義時間前に必ず連絡をしましょう。諸事情で遅れた場合にも、途中参加は可能です。もちろん、出席率が高い受講生ほど合格率もアップします!

公務員として仕事を始めたとしても遅刻は厳禁です。

2 欠席・遅刻時は必ず連絡する

欠席・遅刻をすると試験に必要な多くの重要事項を聞き逃してしまい、その分、合格率が下がります。また、東京アカデミーからお伝えしたい試験情報などをお知らせすることもできません。諸事情で、どうしても欠席・遅刻する場合は必ず電話連絡してください。

公務員として仕事が始まれば、無断欠勤や遅刻することは許されません。同僚や上司、仕事に関わりのある方への「報告・連絡・相談」の徹底は必ず求められます。

3 問い合わせ時には、名前と入会コースを名乗る

事務局や講師の先生に相談や質問がある場合は、まず名前と入会コースを伝えてください。その上で要件を話すようにしましょう。面接試験時でも入室時には受験番号と名前を言います。普段から身に付けておくことで、試験時にも徹底されます。

公務員として仕事が始まれば、市民・国民と接する際には、「〇〇課の〇〇です」と名乗ります。今から身に付けておきましょう!

4 校舎内では、お互いに挨拶をする

コミュニケーションの始まりは挨拶からです。挨拶の「あい」には心を開く、「さつ」にはその心に近づくという意味があります。挨拶は、自分の心を開くことで相手の心を開かせて、相手の心に近づいていく積極的な行為なのです。「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」など、教務スタッフや講師にだけでなく、受講生同士や廊下ですれ違った方にも、相手の顔を見て、明るく、元気よく、心をこめて行いましょう。

公務員として仕事が始まったとしても、継続して行いましょう!

5 社会人としての心構えを習得する

講義中は飲食禁止・スマホの操作禁止・居眠りをしないなどを守っていただきます。

職場で飲食や居眠りをしないことは常識です。今のうちから常識を身につけ上司や同僚から信頼される公務員になりましょう。

6 模擬試験は全て受験する

模試等は必ず受験しましょう。どうしても受けられない場合は自宅受験も可能です。自身の理解度や合格可能性、ライバルたちの状況を知る大切な機会です。

公務員として仕事が始まれば、資料をまとめたり、報告書を提出したりと細かい仕事が多く、期限を守ることも必須です。また、昇格試験があるところもあり、実力とやる気を試験で評価され、その後の仕事の幅が広がります。

7 教務スタッフは全受講生の名前と顔を覚えます

上記6つを遂行してもらうにあたって、教務スタッフと受講生の信頼関係が大切になります。そのために、皆さんの名前と顔を覚え、日々、コミュニケーションを取りながら、受講生の状況を見守ります。

私たち東京アカデミーのスタッフと一緒に、公務員としての必要なマナーを身に付け、公務員試験に合格し、目標となる公務員になりましょう!

